



田原市長

しら い こう いち
白井孝市

8月20日、田原町と赤羽根町が合併し、21世紀に県内で最初に誕生する市として田原市が発足いたしました。

県内の先駆けとなるこの合併は、この地域にとりましても、将来を見通す新しい地域づくりの始まりであり、これが実現に至りましたことは、ここに至るまで温かいご理解と格別のご尽力を賜りました関係各位の皆様方のおかげと、心から深く感謝申し上げます。

現在のわが国は、少子高齢化や情報化、環境問題、また地方分権の時代に入るなど、社会経済情勢が著しく変化を遂げつつあります。

このような時代にあつて、地域の発展を願い、地域が自立し、創意と工夫を凝らしたまちづくりを推進するためには、規模の拡大と能力の向上が欠かせず、力強い自治体になることが求められております。

今回の合併による田原市の誕生は、市民の夢と希望を乗せた運命共同体として、共に手を携え、協力し合い、新しいまちづくりをダイナミックに進めていこうとする私たちの決意の表れであります。

田原市としては、500年の城下町としての伝統文化や農業・工業など高い経済的基盤を引き続き伸ばし、さらに豊かな自然を活かしながら、新たな都市目標として、「潤いと活力のある田園共生都市」を基本理念とし、市民の皆様とともに、誇りと愛着の持てる新市「田原市」を築き上げていきたいと思ひます。

今後とも融和と団結の意識を高め、4万3千人の市民が常に一体となつて、新しく歩み始めた田原市の発展のために、関係各位のお一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます、ごあいさついたします。



田原市議会議長

せき やす のり
関保則

地域のさらなる発展を目指して進められてまいりました田原町と赤羽根町の合併が、関係各位の皆様方のご努力と、両町住民の皆様方の深いご理解とご協力により、ここに実現し、そして、県下32番目の市として、市制施行を迎えましたことは、誠に喜びに堪えないところであります。

これまで、田原・赤羽根両町は、先人の遺した輝かしい歴史と伝統のもとに、それぞれの地域の特徴を生かし、明るく、豊かなまちづくりにまい進してきたところでありますが、地方分権が推進される中、より自立した行財政運営を確立し、地方自治の確立と住民福祉の向上を図るため、合併を目指したものであります。

半島という地理的条件の中で、2町はこれまでも社会、経済、生活等多くの面において密接な関係にあつたところであります。

今回の合併により、赤羽根町が廃止されることは、関係住民の方々におかれましては、大変複雑なことと思ひますが、将来の地域づくりという視点の中で、合併へと踏み切られたことに、敬意を表する次第であります。また、田原町の住民の方々におかれましては、合併による新たな地域づくりの理念を受け入れ、合併を支持していただいたことに感謝申し上げます。

言うまでもなく、合併は目的ではなく、あくまで手段でありまして、新市の発展のためには、住民が一丸となつて取り組まなければなりません。私も議会といたしましても、市議会として、住民の皆様への期待に応え、より豊かで、活力ある地域づくりの推進に最大限の努力を傾けてまいりますので、今後とも皆様方のご指導、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。